

## 硫黄島の火山活動解説資料

気象庁地震火山部  
火山監視・警報センター

硫黄島では、昨日（1日）19時14分頃に島の西海岸で噴火が発生しました。その後、勢いは弱まっているものの、噴火は継続しています。また、8月30日頃から地震活動の活発化とともに、通常より大きな隆起が観測されています。

長期的に島全体の隆起を示す地殻変動が認められ、多くの噴気地帯や噴気孔があり、各所で小規模な噴火が時々発生していることから、従来から小規模な噴火がみられていた領域や沿岸では、小規模な噴火の発生に警戒してください。

平成19年12月1日に火口周辺警報（火口周辺危険）を発表しました。また、平成24年4月27日以降の火山活動に伴い、平成24年4月29日に火山現象に関する海上警報を発表しました。その後、警報事項に変更はありません。

### ○ 活動概況

#### ・噴火の状況（図1）

硫黄島では、昨日（1日）19時14分頃に島の西海岸で噴火が発生しました。阿蘇台東監視カメラによる観測では、噴煙は高さ1,000m以上まで上がりました。その後、勢いは弱まっているものの、噴火は継続しています。

硫黄島及びその周辺海域で噴火が確認されたのは、今年（2025年）2月に翁浜沖で発生した噴火以来です。

#### ・地震や微動等の発生状況（図2、図3）

昨日（1日）19時14分頃に発生した噴火に伴い火山性微動及び空振が観測されました。火山性微動はその後も継続しています。

また、8月30日頃から地震活動が活発化しています。火山性地震の日回数は、8月30日153回、31日685回、9月1日686回、本日（2日）07時までに57回観測されています（速報値）。

#### ・地殻変動の状況（図4、図5）

GNSS連続観測では、長期的な島全体の隆起が継続するなかで、8月30日頃から通常より大きな隆起が観測されています。

---

この火山活動解説資料は気象庁ホームページでも閲覧することができます。

[https://www.data.jma.go.jp/vois/data/tokyo/STOCK/monthly\\_v-act\\_doc/monthly\\_vact.php](https://www.data.jma.go.jp/vois/data/tokyo/STOCK/monthly_v-act_doc/monthly_vact.php)

本資料で用いる用語の解説については、「気象庁が噴火警報等で用いる用語集」を御覧ください。

<https://www.data.jma.go.jp/vois/data/tokyo/STOCK/kaisetsu/kazanyougo/mokuji.html>

この資料は気象庁のほか、国土地理院及び国立研究開発法人防災科学技術研究所のデータも利用して作成しています。

資料中の地図の作成に当たっては、国土地理院発行の『数値地図25000（行政界・海岸線）』『電子地形図（タイル）』を使用しています。



図1 硫黄島 西海岸で発生した噴火の状況（阿蘇台東監視カメラによる）

- ・硫黄島では、昨日（1日）19時14分頃に島の西海岸で噴火が発生しました。阿蘇台東監視カメラによる観測では、噴煙は高さ1,000m以上まで上がりました。その後、勢いは弱まっているものの、噴火は継続しています。
- ・硫黄島及びその周辺海域で噴火が認められたのは、今年（2025年）2月に発生した翁浜沖の噴火以来です。

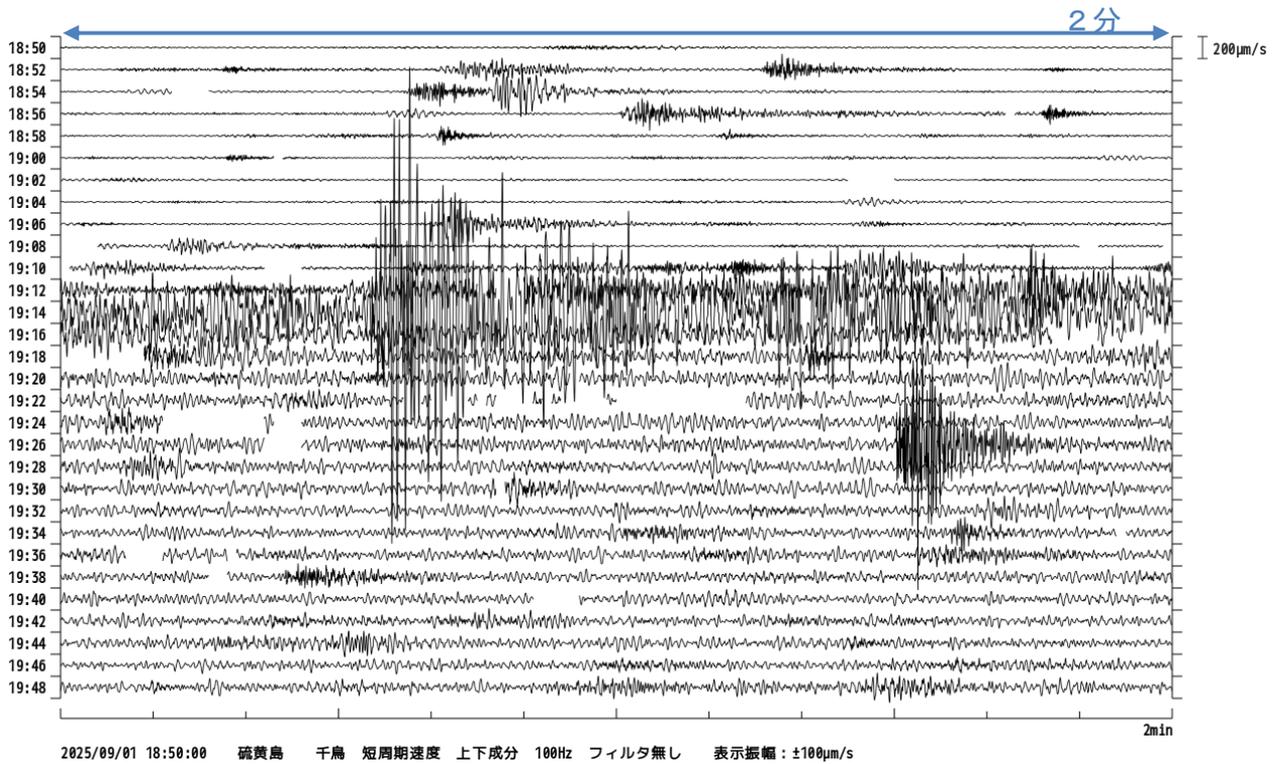


図2-1 硫黄島 9月1日の噴火に伴い観測された火山性微動

(9月1日18時50分～19時50分：千鳥観測点 上下成分)

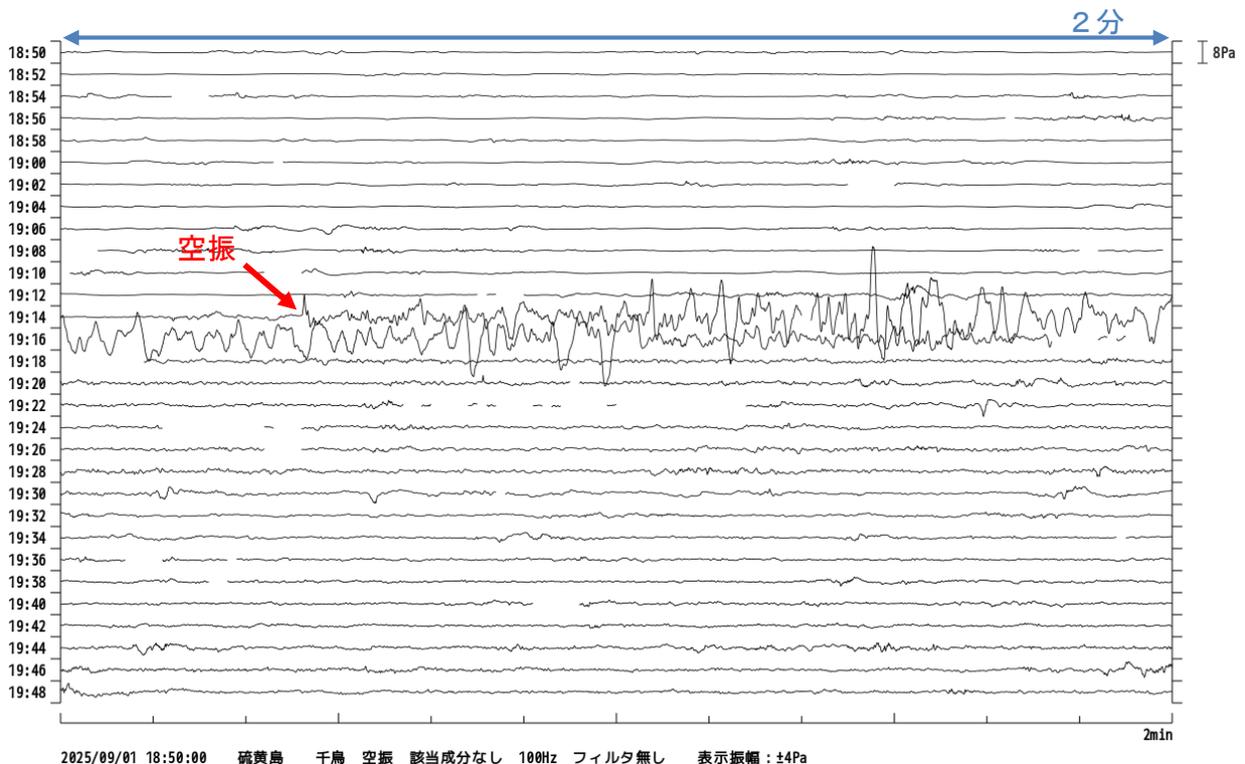


図2-2 硫黄島 9月1日の噴火に伴い観測された空振波形

(9月1日18時50分～19時50分：千鳥観測点)

- ・昨日（1日）19時14分頃に発生した噴火に伴い、火山性微動及び空振が観測されました。火山性微動はその後も継続しています。

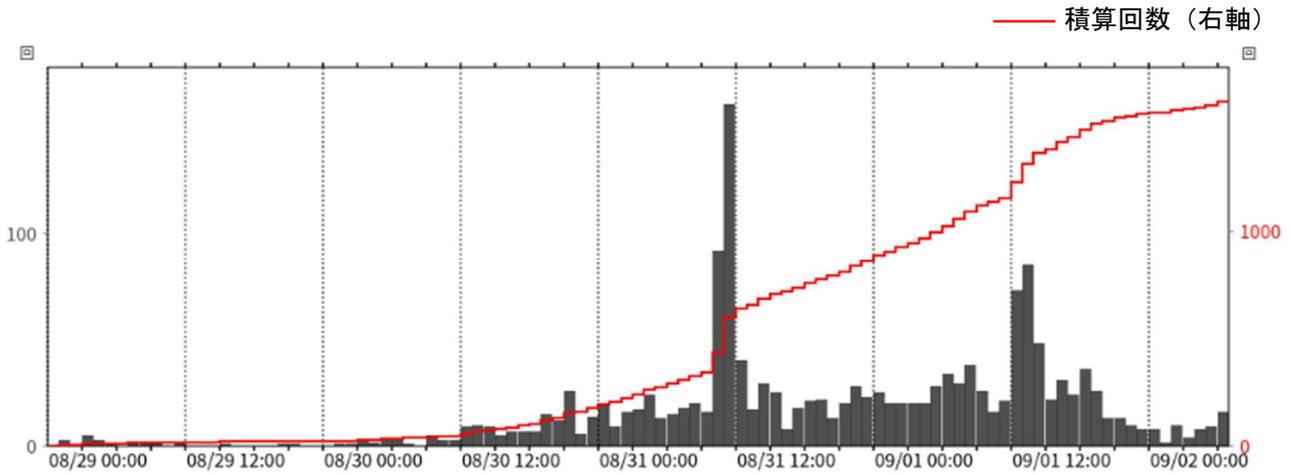


図3 硫黄島 時別地震回数（速報値：8月29日～9月2日07時00分）

- ・硫黄島では、8月30日頃から地震活動が活発化しています。火山性地震の日回数は、8月30日153回、31日685回、9月1日686回、本日（2日）07時までに57回観測されています（速報値）。

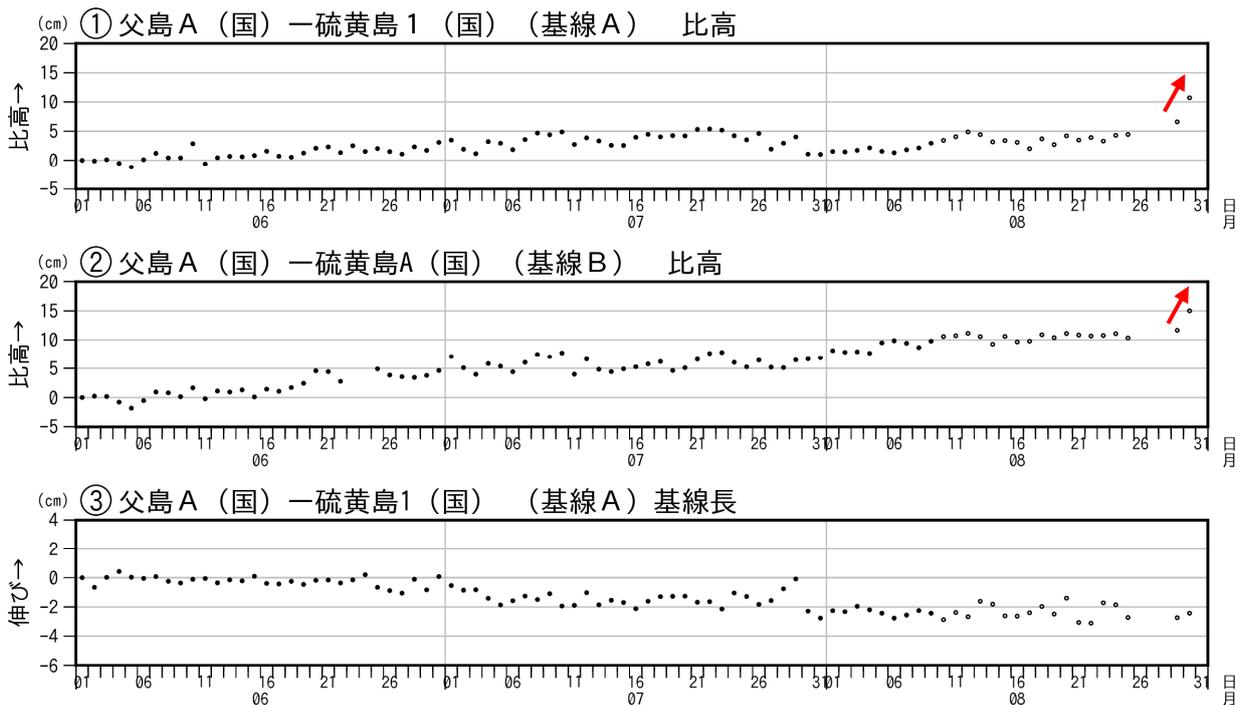
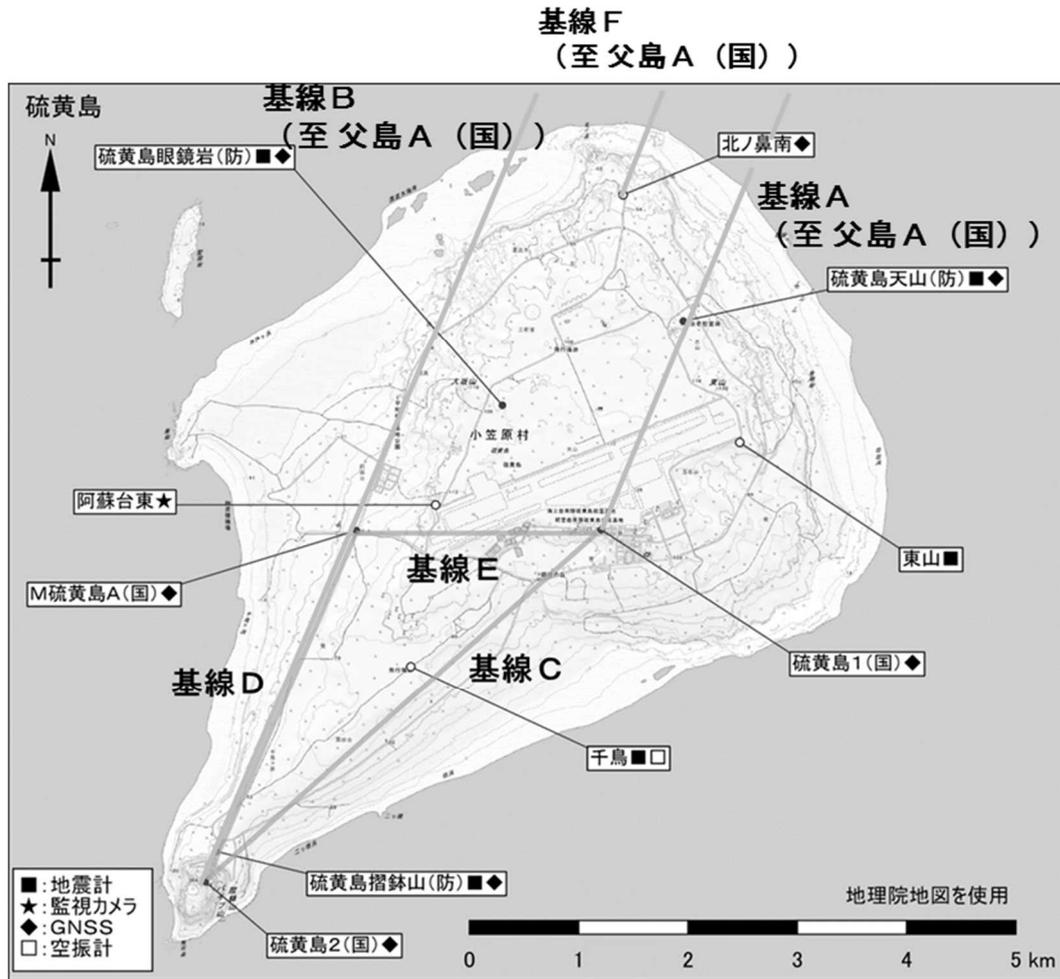


図4 硫黄島 GNSS 連続観測結果（2025年6月1日～8月31日）

（国）：国土地理院。グラフの空白部分は欠測。基線は図5に対応。

- ・GNSS 連続観測では、長期的な島全体の隆起が継続するなかで、8月30日頃から通常より大きな隆起が観測されています（赤矢印）。



小さな白丸(○)は気象庁、小さな黒丸(●)は気象庁以外の機関の観測点位置を示しています。  
(国):国土地理院、(防):防災科学技術研究所

図5 硫黄島 観測点配置図